

床屋で

松下育男

お客さん

ウチの犬が生きていたときにね
どうしても面倒をみられない時には
おふくろの所に時々
預けていたんですよ

おふくろ

はじめは面倒くさがっていたんですけどね
だんだん
可愛がるようになってくれて
引き取りにいくと
ずいぶんさびしそうな顔をするように
なってきたんです

それでね

こないだ話をしたように
犬が突然死にましてね
もちろんおふくろも
ひどく驚いていたんです

でもまあ

仕方がないかと
思っていたんですけどね

こないだおふくろが
電話をかけてきて

「一晩犬を預からしてくれないか」って
言い出したんです

あっ

これはまずいなと
思いましてね

だって

ウチの犬が死んだことを
知っているはずなんですよね

だから

とうとうおふくろ惚けたかなと
覚悟をしまして

来たら様子を見て

病院に連れて行こうかと思っていたんです
それでね

来ました

来たんですけどね

おふくろ

犬の骨壺と写真を大きな袋に入れて
さっさと帰って行ったんです

翌日

返しに来ましたけどね

一晚

骨壺と一緒にいたんだなと

思いましたね

それで何をしていたんだろうと

思いましたね

一晚で

いいのかなと

思いましたね

たまらなくなってきたんですよ